

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		地域生活支援事業費[住宅設備改善事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	障害者福祉費	事業番号	6	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	障害福祉課					障害福祉係					課長名	大法 努
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 3			
【施策名】 障害者福祉の推進								総合計画書(ページ)	55			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	身体障害児・者 【住宅設備改善】学齢児以上65歳未満の下肢・体幹2級以上の者／【屋内移動設備】学齢児以上、上肢・下肢・体幹1級以上の者				対象要件を備えた市内の身体障害児・者数 ※年齢要件等を考慮するのは困難なため、便宜的に肢体不自由1・2級の者とする。							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
障害児・者の日常生活の利便性が向上する。				年間の給付件数/肢体不自由1・2級の者の数								
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
在宅の重度身体障害児・者に住宅設備を改善する費用を給付し、日常生活の利便を図る。				年間の給付回数								
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	595	575	563						
	成果指標	②の数値	%	0.5	1.5	1.2						
	目標	②の目標値	目標値設定の考え方									
対象者に対し、適正に支給を実施する。申請に対して適正に給付をする事業であることから、「目標値」の設定についてはなじまない。												
活動指標	③の数値	回	3	9	7							
3 経費	事業費(実績)		円	1,552,000	2,651,660	3,359,602		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,552,000	1,321,660	2,029,602						
		特定財源	円	0	1,330,000	1,330,000						
	(うち受益者負担)		円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人									
職員人件費(再任用以外)		円	824,400	831,000	838,000							
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	2,376,400	3,482,660	4,197,602							
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和61年度									
	(2) 環境の変化		平成30年度から東京都の包括補助事業の対象から外され、地域生活支援事業費補助(国、東京都)の対象となり、実質的な補助率が下がり、市の負担が増した。									

